

アレルギー疾患の原因ダニ

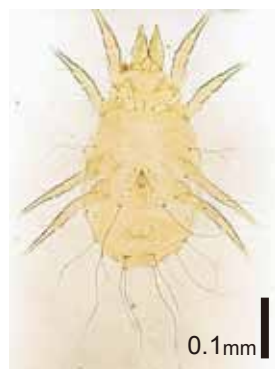
室内に発生したカビや貯蔵食品をエサに繁殖するダニや、家庭のチリやホコリの中に普通に見られるダニなどがあります。これらのダニの死がいやフンは、ぜん息やアトピー性皮膚炎などの原因となることがありますが、**人を刺すことはありません。**

アレルギー疾患の原因
カビや食品に発生

■ どんな虫？

コナダニ類

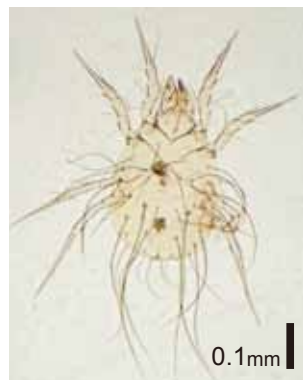
- ・ 畳、床、食品戸棚などに見られるダニで、米、麦、豆類、チーズ、乾物、みそなどの食品を好みます。
- ・ 繁殖に適する、温度・湿度・食物の条件が整うと、短期間で大発生します。
- ・ 大発生すると、うっすらと白い粉で覆われたようになります。



ケナガコナダニ

ニクダニ類

- ・ 室内のチリやホコリ、かつお節や煮干などの食品、カビが発生した場所などに発生します。
- ・ イエニクダニは、15℃前後でよく繁殖するので、冬季に、家具の表面などで見つかることがあります。



イエニクダニ

チリダニ類

- 毛足の長いじゅうたん、寝具類、ぬいぐるみ、ソファなどに生息し、ごみの中のフケや繊維、カビなどをエサにします。
- 繁殖に適する、温度・湿度・食物の条件が整うと、短期間で大発生します。
(最適温度:25～28℃、最適湿度:65～85%)

豆知識～お好み焼き粉にダニが発生

チリダニ類は、稀にお好み焼き粉などの保存食品などから発生することがあります。

対策は…

換気をしましょう

- 室内の湿度を下げて、カビが発生しないようにしましょう。

こまめに清掃・洗濯しましょう

- 発生したカビは、除去しましょう。
- 床や寝具類を定期的に清掃して、ダニのエサになるものや、ダニの死がいやフンを取り除きます。目安として、1㎡につき20秒以上掃除機をかけましょう。
- 毛布やタオルケット、シーツ、ふとんカバーをこまめに洗濯しましょう。
- ふとんの丸洗いも効果があります。
- 食品に発生した場合は、食べずに廃棄しましょう。

ダニの増えやすい環境をつくらないようにしましょう

- 畳の上にじゅうたんを敷くと湿気がこもりやすく、ダニが増えやすくなってしまいます。



コナヒョウヒダニ
(コナチリダニ)



ヤケヒョウヒダニ
(ヤケチリダニ)

屋内で吸血するダニ

時として、屋内に吸血するダニが発生することがあります。このようなダニの被害にあうと、発疹やかゆみを生じます。

吸血
かゆみ
発疹

■ どんな虫？

イエダニ

- ・ネズミに寄生しているダニです。
- ・ネズミが死んだり居なくなったりすると、死がいや巣から離れ、人から吸血することがあります。

トリサシダニ、ワクモ、スズメサシダニ

- ・スズメなどの野鳥に寄生しているダニです。
- ・換気口につくられた野鳥の巣から、ヒナが巣立った後などに、ダニが室内に入り込み、人から吸血することがあります。



イエダニ（吸血時）



スズメサシダニ

■ 対策は…

- ・ネズミを駆除し、巣は撤去しましょう。
- ・換気口につくられた野鳥の巣は取り除きましょう。
- ・巣があった場所やその周囲を清掃し、殺虫剤で処理するとよいでしょう。
- ・室内をくん煙剤などで処理するとよいでしょう。

注意

かゆくなったり、発疹ができる原因は、内科的な疾患によることもあります。「ダニ」と決めつけず、医師に相談して、正しい原因を見つけましょう。

マダニ類

山野で人や動物から吸血の機会を待っている大型のダニです。吸血されると、時に、感染症を引き起こすことがあります。

吸血
病原体の媒介

■ どんな虫？

- ・春から秋に発生し、山林や笹やぶなどで人を吸血することがあります。
- ・吸血すると、体が大豆ほどの大きさになるため、発見しやすくなります。
- ・ライム病などの病原体を媒介することがあります。



吸血するシュルツェマダニ
(写真提供：道立衛生研究所)

■ 対策は…

- ・山林や笹やぶに入る時は、肌の露出を避けましょう。白っぽい服を着ると、服についたマダニを発見しやすくなります。
- ・生息地から離れたら、できるだけ早く全ての衣類を取り替えましょう。
- ・皮膚についたマダニを無理にとると、皮膚に食い込んだ口の部分が体内に残ることがあります。感染症を引き起こすこともありますので、医師に処置してもらいましょう。

豆知識～マダニ類が媒介する感染症例

ライム病

マダニに刺された場所を中心に、環状に赤みを帯び（遊走性紅斑）、同時にインフルエンザ様症状（筋肉痛、関節痛、頭痛、発熱など）が現れることがあります。これは、ライム病の初期症状ですので、医師による処置が必要になります。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

マダニに刺されてから、6日～2週間後に、発熱、消化器症状（食欲低下、下痢など）が多く、他の頭痛、筋肉痛、意識障害などを起こすことがあります。現在、治療は対症的な方法しかありません。

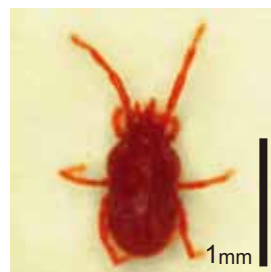
全てのマダニが、これらの感染症を引き起こす病原体を持っているわけではありません。しかし、マダニに刺された場合は、医師にマダニに刺されたことを伝え、処置してもらうことをお勧めします。

その他のダニ

その他に、札幌市保健所で相談を受けることのあるダニは、以下のような種類があげられます。

タカラダニ、クローバーハダニの仲間

- 6～7月頃を中心に、建物の外壁や屋上のコンクリート部分などに多数発生するダニです。
- 血のような赤い色をしていますが、吸血することはありません。
- 気になる場合は、ホースの水で洗い流しましょう。



アナタカラダニ
(写真提供：道立衛生研究所)

ヒゼンダニ

- 疥癬症を発症させるダニです。
- 手指の間や、ひじの内側などの皮膚内にトンネルを掘って寄生するため、激しいかゆみを生じます。
- 人から人へ感染するため、医師による早期の治療が必要です。

ツメダニ

- 室内に生息するチリダニ類やチャタテムシなどの体液をエサとするダニです。
- 偶発的に人を刺すことがあります。



ツメダニの一種